

病害虫発生予察情報

9月月報

令和元年 10月 28日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2019年 9月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	31.8	2.3	22.8	1.4	26.9	2.0	202.0	349	51.4	105
中旬	27.9	0.8	20.1	0.8	23.5	0.7	50.0	58	40.6	96
下旬	28.8	4.2	19.4	2.5	23.7	3.3	19.5	22	51.0	144
平均	29.5	2.4	20.8	1.6	24.7	2.0				
合計							271.5	121	143.0	113

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

上旬：前半は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日があったが、後半は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。なお、8日から9日にかけては台風第15号の影響により暴風雨となった。

中旬：高気圧に覆われて晴れの日があったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、期間のはじめには雷雨となった所があった。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあった。また、暖かい空気に覆われることが多く、気温はかなり高くなった。

2 作物生育概況

(1) イネ

台風15号により一部の圃場で倒伏が見られた。中下旬から稲刈りが行なわれ、一部の圃場では収量が1割減となった。

(2) 野菜

果菜類：露地のトマト、キュウリ、オクラは台風15号の影響により茎葉が傷み、栽培終了となる圃場が多かったが、ナスは生育が回復する傾向が見られた。施設のトマト、キュウリの生育は順調であった。

葉根菜類：キャベツ、ブロッコリーは台風15号の影響により茎葉の傷みが見られたが、その後回復し生育は順調であった。8月播種のニンジンが発芽が遅れた影響で生育が遅れている。

イモ類：サトイモは台風15号の影響で茎葉の傷みが多く見られた。

(3) 果樹

農総研果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。

ブドウ：‘巨峰’の収穫始めは6日遅く、収穫終わりは4日遅かった。

‘巨峰’ 収穫始 9月11日（+6日）
 収穫終 9月24日（+4日）

ナシ：収穫終わりは‘幸水’で3日早く、‘豊水’‘稲城’で1～2日遅かった。

‘幸水’ 収穫終 8月28日（-3日）
 ‘豊水’ 収穫終 9月17日（+1日）
 ‘稲城’ 収穫終 9月11日（+2日）

(4) 茶樹

後半になり雨量が多くなったため、枝が伸長し次年度の芽の位置が上昇する畑もあった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< 並 >	発生は平年並であった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< 多 >	発生は多かった。

果樹共通

カメムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
-------	---------	------------

(3) 茶樹の病害虫

炭疽病	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ (施設)

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
褐斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
トマトハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。

コマツナ

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン

軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。

ハウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ニンジン

うどんこ病 < 少 > 発生は少なかった。
 キアゲハ < 少 > 発生は少なかった。

サツマイモ

イモキバガ < 少 > 発生は少なかった。
 ナカジロシタバ < 少 > 発生は少なかった。
 ハスモンヨトウ < 少 > 発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類 < やや少 > 発生はやや少なかった。
 アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。
 ハスモンヨトウ < やや少 > 発生はやや少なかった。
 タバコガ類 < 少 > 発生は少なかった。
 ハダニ類 < 少 > 発生は少なかった。
 ネキリムシ類 < 並 > 発生は平年並であった。
 カメムシ類 < 並 > 発生は平年並であった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病 < 少 > 発生は少なかった。
 ホコリダニ類 < 少 > 発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

庭木及び街路樹

チャドクガ < やや少 > 発生はやや少なかった。
 モンクロシャチホコ < やや少 > 発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

八丈島：ルスカスでこうじかび病の発生が多かった。

小笠原：レモンでかいよう病の発生がやや多かった。

4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日* ¹	調査日* ²	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
江東区	9月5日	10月8日	0	0
大田区	9月5日	10月8日	0	0
板橋区	9月3日	10月10日	0	0
新宿区	9月5日	10月10日	0	0
足立区	9月3日	10月10日	0	0
青梅市	9月6日	10月10日	0	0
八王子市	9月9日	10月8日	0	0
多摩市	9月12日	10月8日	0	0
国立市	9月9日	10月10日	0	0
東久留米市	9月9日	10月10日	0	0

* 1 : 誘引剤の設置日 * 2 : 誘殺数の調査日

注) ミカンコミバエ種群における発生確認調査の結果は下記のとおり
(植物防疫所ホームページ)

[http://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/
attach/pdf/BD_Tokyo.pdf](http://www.maff.go.jp/pps/j/introduction/domestic/dsinnyuu/attach/pdf/BD_Tokyo.pdf)

病害虫防除所ホームページ

[http://www.sangyo-
rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anken/boujyo/](http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/anken/boujyo/)

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。